



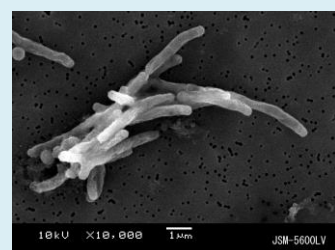
結核

日本では毎年約10,000人が新たに発症！

結核は、結核菌によって引き起こされる感染症です。
結核菌が肺の中で増殖し、発症すると、**咳せきや痰たん、
発熱、体のだるさなど、風邪のような症状が現れて、症状が2週間以上
長く続くのが特徴**です。

また、体重が減る、寝汗をかくなどの症状が現れたり、病気が進行
すると血の混じった痰が出始め、さらに重症になると血を吐いたり、
呼吸困難に陥ったりします。

結核菌はとても小さな細菌で空気感染で感染します



結核菌の顕微鏡写真
東京都感染症情報セン
ターホームページより

発症者の6割が70歳以上。加齢に伴う
免疫力の低下が、結核を招きます。

高齢者は、若い頃に結核がまん延していたため
感染している人が多くいます。通常は免疫の働き
で結核菌の増殖が抑えられているために、**感染し
ても8～9割の人は発病せず**に一生を終えます。

ところが加齢に伴い、抵抗力が衰えたり、病気
の治療のために免疫力を抑えたりすると**体の中で
眠っていた結核菌が再び目覚めて活動を始めて発
病に至る**場合が、高齢者の結核の原因です。

参考：政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/article/201509/entry-8559.html>

厚生省「結核・呼吸器感染症予防週間」 9月24日～30日

当院では、患者さんの喀痰を採取し、
結核の検査を行うことができます。

**せき・たんが2週間以上続いたり、
微熱や体のだるさが続く場合**は、早め
に医療機関を受診しましょう。



結核は過去の病気ではありません

稲沢市民病院／

病院 News.

inazawa municipal hospital news

Vol. 111

2026 August



危険！熱中症！

夏になると熱中症で救急搬送される人が増えています。
熱中症は、気温が高い日だけでなく、湿度が高い日や室内でも
起こり、死に至る場合もあります。正しい知識と日頃の対策で
予防しましょう。



日本救急医学会は、熱中症の診療指針を9年ぶりに改訂しました。これまで
3分類だった重症度に、**新たに最重症群の「4度」**を設けました。

重症度	症状	主な対応
1度	めまい 立ちくらみ 生あくび 大量発汗 筋肉痛など	応急処置と見守り 改善なければ医療機関へ
2度	頭痛・嘔吐・倦怠感・虚脱感など	医療機関を受診
3度	意識障害・けいれん発作・肝、 腎機能障害など	入院治療
4度	深部体温が40度以上で意思疎通が できない	「アクティブクーリング」 ※ 冷水浸水・アイスプール・局所冷却など 積極的に体温を下げる治療・処置



日本救急医学会「熱中症診療ガイドライン 2024」一部改変

稲沢市民病院ニュース

発行日 令和8年7月27日

発行部数 1000部

発行元 稲沢市民病院 広報委員会

電話 0587-32-2111

Fax 0587-32-2151

E-mail hospital@city.inazawa.aichi.jp

昨年（2025年）の熱中症の様子は？



救急搬送人数（全国）



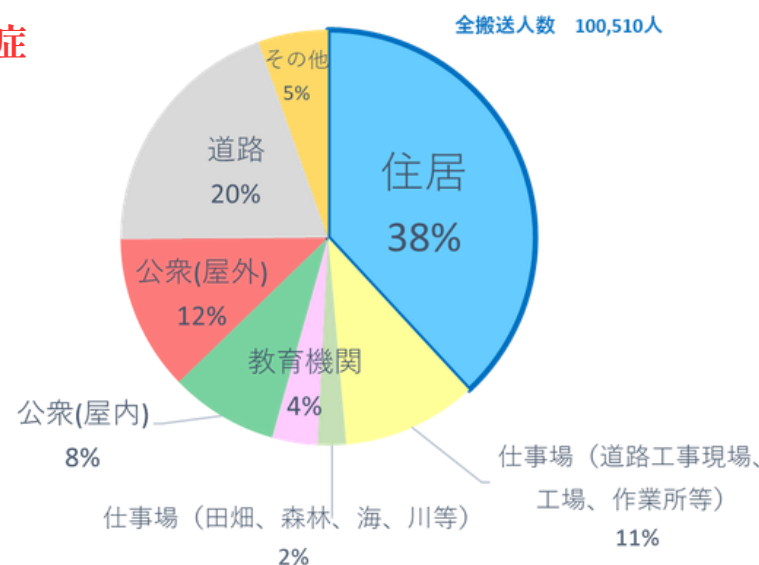
7・8月が最も多い！

熱中症は、高温な環境下で発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもることによって様々な症状がみられる状態を指します。
救急搬送された方は、暑さに慣れていない7月が最も多く、次いで8月も多くの方が救急搬送されています。



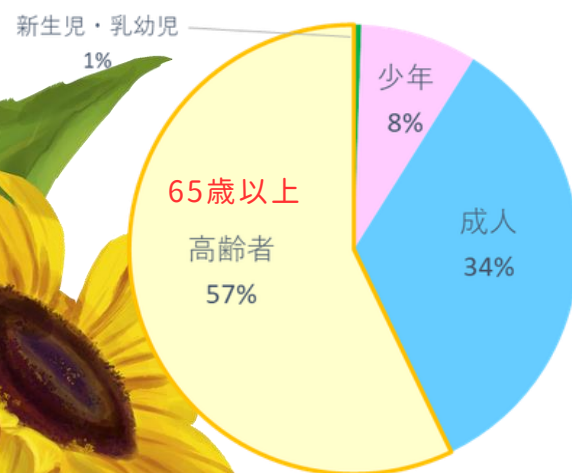
約38%の人が室内で熱中症を発症

発生場所（全国）



年齢構成（全国）

全搬送人数 100,510人



高齢者は特に注意が必要

- 体内の水分が不足しがち
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします
- 暑さに対する感覚機能が低下
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。
- 暑さに対する体の調節機能が低下
高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

熱中症が疑われるときには

チェック1 熱中症を疑う症状がありますか？

(めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)

はい

チェック2 呼びかけに応えますか？

いいえ

はい

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

チェック3 水分を自力で摂取できますか？

いいえ

はい

経口補水液などを補給する

※経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性もあります
腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください



チェック4 症状がよくなりましたか？

いいえ

はい

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう

救急車を呼ぶ

救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。呼びかけへの反応が悪い場合は無理に水を飲ませてはいけません



涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

氷のう等があれば、首、わきの下、太もものつけ根を集中的に冷やしましょう※



医療機関へ

本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう



※スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

厚生労働省：「熱中症予防のための情報・資料サイト」参照

総務省消防庁ホームページ公表データを一部加工：

<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>

「高齢者のための熱中症対策」厚生労働省・経済産業省・環境省：

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pdf/heatillness_leaflet_senior_2021.pdf